



9 2022

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ アフガニスタン家族のために (2面) ☆ ラジオ「信仰の時間」ノ・ネリマ神父 (5面) ☆ ウクライナ人道支援 (3面) ☆ イエスにならう生き方を求めて (6面) ☆ 諸宗教対話委員会活動 黄壁宗 (3面) ☆ 新しくなる典礼 ☆ 生きる (7面) ☆ 使徒職養成委員会学習会 (4面) ☆ 難民移住者 ☆ カテキズムの学び (7面) 広報委員会へのEメールアドレス=jho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。



病者・障がい者と ともに歩むミサ

9月23日(金・祝)14時 司式：前田万葉大司教 大阪カテドラル 聖マリア大聖堂 (人数制限あり) *Zoom参加とYouTube配信 小教区にお配りした祈りのカード「ともに歩む」を心を合わせて祈りましょう。

2022年すべてのいのちを守るための月間 被造物の声に耳を傾ける

日本カトリック司教協議会 会長談話

世界のキリスト教諸教派は、ともに、9月1日からアンジの聖フランシスコの祝日である10月4日までを「被造物の季節」と設定し、ともに暮らす家のために祈り、また守るよう呼びかけています。カトリック教会もこのエキメニカルな活動に参加するよう教皇庁総合人間開発省が毎年呼びかけを行っており、日本では「すべてのいのちを守るための月間」として取り組みが行われています。今年の被造物の季節のテーマは「被造物の声に耳を傾ける」で、詩編19編2節〜5節から取られています。天は神の栄光を物語り 大空は御手の業を示す。 昼は昼に語り伝え 夜は夜に知識を送る。 話すことも、 語ることもなく 声は聞こえなくても その響きは全地に その言葉は世界の果てに向かう。 わたしたちは「話せず、語れず、声が届かない」被造物や貧しい人々の叫びに耳を傾けるよう招かれています。あなたが住む地域では、どんな声が聞こえますか？ 人々の圧力によって聞こえないよう押し潰されてしまっている声はありませんか？ どうかこの期間に「わたしたち自身の中の調和、他者との調和、自然やいのちある他の被造物たちとの調和、そして神との調和」といったさまざまなレベルで、エコロジカルな平衡を回復(「教皇フランシスコ回勅『ラウダート・シ』」10)していくことができるよう、祈り、身近で実行することが出来る小さな取り組みを行ってください。 臨時司教総会では、総合的な(インテグラル)エコロジーの取り組みを推進していくためのデスクが協議会に新たに設置されました。社会問題としての環境への取り組みにとどまらず、キリスト者が個人として、共同体として、霊的にも、社会的にも神と、自然と、他者と調和して生きていくための取り組みを各教区やカトリック関連団体との連携のうちに進めていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。 (2022年7月20日 日本カトリック司教協議会 会長 東京大司教 菊地功)

キーワードで読み解く 回勅兄弟の皆さん

「すべてのいのちを守るための月間」にあたり、今月から来年3月までの予定で、教皇フランシスコの回勅『兄弟の皆さん』(2021年)についての連載を始めます。



「世界に開かれた」—— これは、今日の経済界と金融界で用いられる表現です。……この文化は、世界を均一化はしても、人びとや国々を分断します。なぜならば、社会のますますのグローバル化によって、人間は隣どうしにはなりません。兄弟にはならないからです。個々の利益を重視し、実存の共同体的側面を弱める没個性化した世界の中で、わたしたちはかつてないほど孤独です。(12番)

「回勅なんてむずかしくて……」と知っている方にも、これだけは知っておきたいポイントとして、各章ごとのキーワードをご紹介します。今回は字数の関係で解説なしでキーワードのみ。そのまま感じ取ってください。 ひたすら「わたしたち」でありますように

パンデミックが引き起こした痛み、不確実性、不安、自己の限界への気づきは、わたしたちのライフスタイル、関係性、社会の組織、そして何よりもわたしたちの存在の意味を、見つめ直すようにとの声を響かせています。(33番)

どうか「あの人たち」で終わらせず、ひたすら「わたしたち」でありますように。どうかもう、わたし

第1章 「閉ざされた世界の間」

人間は隣どうしにはなりません、兄弟にはならない

すべてのいのちを守るための特別献金 (文 酒井俊弘補佐司教) 9月1日-10月3日

大阪教区 典礼研修会 2022年10月23日(日) 午後2時から4時 カトリック大阪梅田教会聖堂 テーマ:『新しいミサ曲を学ぶ』 講師:日本カトリック典礼委員会 宮越俊光氏 オルガニスト 三浦優子さん 後日、Youtubeでみる事ができます

INTERNATIONAL DAY 2022 10月16日 各小教区で、国籍を超えた人との交わりをお祝いください。大阪カテドラル聖マリア大聖堂での行事はコロナ感染症対策を講じ、以下の通りいたします。(※詳細は各小教区・団体への配布案内参照) ミサ 11時~ 原則的に大阪北・南地区対象 (人数制限有り・整理券を配布) 交流会 12時半~16時 出店・ステージなど規模縮小 開催・来場は人数制限なし

有償ボランティア 事務局員募集 求 詳しくはホームページをご覧ください。 https://yurikago.site 理事長 人見 滋樹 (元カトリック医師会会長) 認定NPO法人 こうのりのゆりかご in 関西